



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功
副会長 舟田 正夫
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

高田 一彦

「神はあらかじめ定められた者たちを召し出し、
召し出した者たちを義とし、義とされたものたちに
栄光をお与えになったのです。」

ローマの信徒への手紙 第8章30節

今月のひとこと

「ブリテン800号に想う」

高田一彦



気が付いてみると、当クラブのブリテンが800号を数えることとなった。さすがに昨年85周年を迎えた横浜クラブとして66年8か月目のブリテン発行となり感慨無量である。

そもそも私のブリテン編集との関わりは、横浜クラブ入会4か月目(1990年8月)に、それまでブリテン担当の加藤利栄ワイズが、次期日本区理事となり忙しくなるのでその代役として引き受けたことにあった。10カ月間の短い期間であったが、当時は原稿を郵送やファックスで集め、原稿の字数を数えてワープロで打って頁を作成し、印刷屋へ速達やファックスで送り、校正も郵送やファックスでやり取りしたものである。写真などは、経費がかさむので掲載されず殆ど文章ばかりで、たまに写真を挿入しても白黒がせいぜいのところであった。

2011年7月より再度ブリテン編集に携わり現在に至る

が、この度のきっかけは、2011年2月に船橋へ転居し横浜から遠のいたので、せめてもの貢献とブリテン担当を自ら志願した次第。

昨今のブリテン編集の原稿の依頼は、7月総会時の年間行事計画表で、今月の聖句・今月の一言・例会報告・近況報告・YMCA報告等を割当、その他イベントや特別記事を個別に依頼するが、最終的には第2例会で次月の掲載記事を確認する。収集した原稿を指定フォーマットにパソコンで変換し、レイアウト、写真の埋め込み等で全体の紙面を構成する。ドラフト作成後、寄稿者及び関係者へレビュー依頼を出す。レビュー完了後、メールでYMCA担当主事に印刷依頼をし、YMCAの印刷機で印刷してもらったブリテンを例会当日YMCAで受け取るという手順。

編集変遷の顕著な出来事を見ると、故須部ワイズがブリテン担当の時(2008年度)に、外注印刷から自前のパソコンで編集することを試行、毎月3万円の外注印刷費が4千円に減少し、年間30万円余の予算削減に寄与したことがあった。ブリテン1頁目の巻頭言は、「会長一言」として毎月会長が執筆していたが、会長の負担軽減と言う事で、最近では「今月の一言」としてメンバー持ち回りの寄稿となっている。

編集者の苦勞としては、第一に締切日に未着の原稿や、原稿の長短での紙面調整、指定フォーマットに合わない文章のパソコンとの葛藤、時には寄稿者からのクレーム(訂正の仕方、写真等)があったりする。また、その昔には原稿を送ったの送らないので、会員間の不和が生じた事等を聞き及ぶ。

これらの変遷を経て現在も継続している横浜クラブのブリテンは、大いに誇れるものと言えよう。毎月1回のブリテン編集に際しては、緊張とストレスに立ち向かいながらも結構楽しんでる自分を発見する。

<2016年7月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B	F
20名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 14名 メネット 2名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 0名 合計 18名	74 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

<8月の行事予定>

CS (Community Service)

日	曜	時間	行事内容	場所
4-7	木		第72回国際大会	台北
5-7	金		AIDS文化フォーラム	県民セナ
24	水	18:00	第一例会兼納涼会	驛の食卓

「7月例会報告」

松島 美一

ワイズメンズクラブは7月から翌年6月までを1年度としている。したがって7月例会は1年1回の会員総会と新年度のキックオフ例会を兼ねることが恒例である。2016-2017年度の総会とキックオフ例会は7月14日18時30分より横浜中央YMCA501会議室で行われた。この例会では新年度の部長公式訪問を受け、同時に新会員入会式も行う盛り沢山の行事となった。



若木部長立会のもと恒例の燭火入会式

伊藤誠彦ワイズの司会で金子会長による開会点鐘、ワイズソング、信条唱和、ゲスト・ビジター紹介、若木一美部長の挨拶と進んだ後、野村郁雄新会員の入会式が行われた。入会式の立会人は若木部長、高田一彦、松島美一ワイズであった。

食事の後、金子功会長が議長となり総会が行われた。議事は旧年度の事業結果報告、事業委員報告、会計報告と新年度のクラブ役員案、活動方針と事業計画案、会計予算案が印刷資料を使用して提案され、原案通り承認された。更にクラブ



野村ワイズを囲んで

会則とクラブファン
ド、会費、公式記録、
活動資金補助に関する
施行細則、情報発信、
慶弔に関するマニ
ュアルの改定案が上
程された。その原案は
メール付属文書とし

て会員にあらかじめ送付されており、異議なく原案通り承認された。

次いで7月キックオフ例会に移り、金子会長からビジネス報告が行われ、承認された。盛り沢山の例会はつつがなく議事、報告が進行、定刻20時30分直前に閉会点鐘となった。席上行われたロバ献金は総額16,520円であった。

出席者はゲストの湘南・沖繩部若木一美部長、加藤利榮部書記、横浜クラブ会員の青木、伊藤メン・メネ、今村、遠藤、大江、大高、金子メン・メネ、古賀、齊藤、高田、野村、舟田、古田、松島各メンの計18名であった。

<第1回部評議会報告>

伊藤 誠彦

日時：7月30日(土) 15:00~17:00

場所：横浜中央YMCA608号室

定足数(19名、出席20名、委任状18通)確認後、加藤部書記の司会、若木部長の議長のもと議事に入った。

第1号議案(15-16年度事業報告)：今城直前部長より1年を振り返り報告があったが、「ワイズ活動は、国際でも、区でも、部でもなく、・・・クラブが中心であるべきと強く感じました」というコメントが印象的でした。

第2号議案(15-16年度収支決算報告・監査報告)

第3号議案(16-17年度事業計画に関する件)：若木部長より16-17年度事業計画の説明、各事業主査より事業計画に関する報告があった。

第4号議案(16-17年度予算及び部費に関する件)

第5号議案(次年度次期部長選考委員会に関する件)

第6号議案(部会実行委員会に関する件)

第7号議案(東日本区定款改定委員会委員推薦に関する件)

第8号議案(部則改訂委員会に関する件)

議事は若木部長の小気味のよい運営により、全て提案・報告通りに承認され、比較的短時間に終了。その後、各クラブ会長からの活動報告があった。

横浜出席：伊藤、大高、金子、古田

尚、評議会に先立ち、「ワイズカップチャリティー室内サッカー大会」の第一回打ち合わせが開催され、事務局より企画書の説明があった。開催日は9月22日(木)、実行委員長は金子会長、副会長は林横浜つづき会長と決まった。委員会出席者、関口努、内田暁也、加藤健太、生井知三(以上、横浜Y)、金子、林、列席者は、伊藤、大高、古田。

「第72回ワイズメンズクラブ国際大会に参加」

金子 功

第72回ワイズメンズクラブ国際大会は、「Living in Harmony」をテーマに8月4日~7日、台湾の台北で開催され25カ国を超える国と地域から800名以上のワイズメン、メネット、ユースが参加した。日本からの参加者数は東西日本区を合わせてほぼ200名、東日本区からは80余名であった。

私は2010年の横浜大会以来国際大会には参加していなかったため、今回、東京クラブで旅行業を営み国際大会参加ツアーを企画した長澤ワイズのツアープログラムに参加することにした。

国際大会は言うまでもなく国際会長の就任式を初め、国際本部事務局書記長による国際協会の現状報告等公式的なプログラムを中心に進められるが、私個人としては、ワイズダムによって結ばれた仲間との旧交を温め、又新しい出会いを求めて参加に意味を感じている。従って、横浜クラブの会長としてIBCとの交流を願っての参加であった。



基隆メンバーと

2011年にアジア地域大会が台湾の宜蘭（Yilan）で開催された折には高田ワイズと共に参加し、夕食会の会場で何人かの基隆クラブのメンバーと一緒に写真を撮る等の交流に留まった。



バンロククラブ Wichian と

簡さんを紹介してくれた。簡さんは、高杉ワイズと一緒に写っている写真を持参し、横浜訪問のありし日を語ってくれた。言葉は殆ど通じないのだが曹さんはクラブメンバーと写真を



ベータクラブ Wong と

一緒にとるために私を引きまわしたり、会場の大会の記念品を販売しているコーナーに案内し、私にシャツを選ばせてプレゼントしてくれたり心からの歓迎の意を示してくれた。李クラブ会長は、英語を少し話す大学生のお孫さんを連れてきて私との会話に花を咲かせた。横浜からは私一人であるにも拘わらず大変な気の遣いようで最後の別れの時には一人ひとりが握手を求めてきたので涙もろい私の涙腺も緩んでしまった。IBCの名のもとにワイズダムの絆が保たれていることに感動した。

今回、IBCであるバンコククラブの Mr. Wichian, シンガポール・ベータ・チャプターの代表者 Mr. David Wong さんにも会場で挨拶する機会を得た。

国際大会では思いがけない出会いがある事もある。新しい



共生国際会長引き継ぎ式

国際会長の Joan Wilson のご主人が以前東京のカナダ大使館に勤務していたことをつづきクラブの林さんが聞きつけて私に知らせてくれた。私が嘗てカナダ大使館に勤務していたことを知っての計らいである。Joan は今回ご主人と一緒に参加であった。20数年ぶりに当時科

横浜クラブは台湾の基隆（Keelung）クラブとIBCを結んでいる。6年前の横浜大会には基隆クラブから二人が参加したと記憶しているが会場で名刺を交換した程度であった。

今回、基隆クラブの曹さんと会うのは三度目になるが、曹さんが中心になって新しい女性のクラブ会長李さんを紹介してくれたり、横浜クラブの60周年記念式に来訪したという

簡さんを紹介してくれた。簡さんは、高杉ワイズと一緒に写っている写真を持参し、横浜訪問のありし日を語ってくれた。言葉は殆ど通じないのだが曹さんはクラブメンバーと写真を一緒にとるために私を引きまわしたり、会場の大会の記念品を販売しているコーナーに案内し、私にシャツを選ばせてプレゼントしてくれたり心からの歓迎の意を示してくれた。李クラブ会長は、英語を少し話す大学生のお孫さんを連れてきて私との会話に花を咲かせた。横浜からは私一人であるにも拘わらず大変な気の遣いようで最後の別れの

時には一人ひとりが握手を求めてきたので涙もろい私の涙腺も緩んでしまった。IBCの名のもとにワイズダムの絆が保たれていることに感動した。

今回、IBCであるバンコククラブの Mr. Wichian, シンガポール・ベータ・チャプターの代表者 Mr. David Wong さんにも会場で挨拶する機会を得た。

国際大会では思いがけない出会いがある事もある。新しい

国際会長の Joan Wilson のご主人が以前東京のカナダ大使館に勤務していたことをつづきクラブの林さんが聞きつけて私に知らせてくれた。私が嘗てカナダ大使館に勤務していたことを知っての計らいである。Joan は今回ご主人と一緒に参加であった。20数年ぶりに当時科

学技術担当参事官であった Stuart Wilson との思いがけない再会を果たした。

国際大会4日間の会期を通じ、日本の他クラブのメンバーとの交流や出会いも含め、毎日がワイズダムの絆を深める楽しい台湾訪問でした。

「近況」

齋藤 宙也



1 最近、事件数自体は決して多くはないのですが、相談業務や遠方の裁判所等に行ったり種々の会合に出ずっぱりです。事務所での滞在時間が一日数時間しかなく、単純な仕事でもさばけずにたまってしまふことが多いです。電車の中で何とか仕事を進めることを考えるのですが、事件記録を読んだり整理するのは難しいので、文献を読むか、裏紙に手書きで起案するかだけでもしたりしています。時間を有効利用することの重要性をひしひしと感じています。

本例会は何とか出席しようと思いますが、第2例会については、全部出るのは困難かと思っておりますので、どうか御理解のほどお願い申し上げます。

2 5月31日、事件の関係で久しぶりに熊本に行きました。熊本城に接する道路を通過して、本当に甚大な被害であったということがよく分かりました。熊本は、震災に加えて記録的大雨による被害も起きており、非常に厳しいです。

先日、YMCAの会員大会で、熊本復興支援のための販売があったので、幾つか購入しました。そんな中、来年の西日本区大会が熊本で開催されるということ、東日本区大会の時に聞きました。熊本から来られていたワイズの方々と一緒に再会して、来年は必ず行くとお伝えしました。

「のんびりんこ」開所式

高田 一彦

横浜中央YMCAが横浜市中区より受託している横浜市中区子育て支援拠点「のんびりんこ」が関内駅前のセルテより、中央YMCAのワンプロック先のビルの3階に移転し、その開所式が7月15日に開催された。横浜市中区長の挨拶、安田施設長の経過報告、来賓挨拶の後に内覧会が行われた。

横浜公園（横浜球場）に面した窓側は、樹木が生い茂る自然の景観となり



横浜公園の緑を背景に内覧会

を認識して欲しい。この拠点は、未就学児（0～3歳児）の子どもと保護者が、一緒に遊んで過ごせる場所で子育てが初めてのお母さんたちが集まって、子育てのノウハウの情報交換をしたりする区指定の拠点となっている。

第二例会報告

古田 和彦

日時：7月28日(木) 17:00~18:30

場所：中央YMCA 501号室

出席者：伊藤、金子、古賀、高田、古田

協議・確認・検討事項

1) 行事予定

- ・7月~10月の行事予定確認
- ・8月24日予定の第2例会は行わない。

2) 第19回とつか・鎌倉クラブ合同納涼会(8/23)への対応

- ・伊藤書記がクラブメンバーに問合せ、まとめて申し込む。

3) 横浜クラブ8月例会・納涼会実施要領の確認

- ・8月24日(水) 18:00~20:30 於驛の食卓
- ・総合司会：遠藤ワイズ 会費：昨年同様 5,000円
- ・湘南地区各クラブ、これまでの参加者へは会長から案内

4) 横浜クラブ用品保管キャビネット

- ・8階にスペースを確保することができた。そこに新しくキャビネットを購入して設置する。

5) 横浜YMCA 熊本・東北復興支援ナイター(9/6)募金への対応

- ・伊藤書記がクラブメンバーに問合せ、まとめて申し込む。

6) 卓話予定 9月：古賀健一郎ワイズ

7) 青木ワイズ(担当主事)がYMCA研究所に9/20~12/3派遣され、その間不在となる。代理者をお願いする。

8) ロースターが届いている。9月に配布する。

9) 8月ブリテン編集計画



担当主事 青木 一弘

■横浜YMCA 熊本・東北復興支援ナイターのご案内

9月6日(火)に、今年度も熊本・東北復興支援ゲームを開催し、被災地から県内へ避難されている方々を横浜DeNAベイスターズ対東京スワローズ戦に招待いたします。

なお、一口3,000円で復興支援ナイター募金をして下さった方に、当日の野球観戦チケットと特製タオルマフラーをお渡しします。多くの方の参加をお待ち申し上げます。ナイター募金へのお申し込みは、震災復興支援担当まで。

Tel. 045-662-3721

■中区地域子育て支援拠点 のんびりんこが新築移転しました。

横浜YMCAが運営する子育て支援拠点 のんびりんこ、関内駅前セルテから横浜公園前に新築移転しました。7月15日に開所式を行ない、翌16日土曜日より通常通りの運営となりました。横浜中央YMCAから徒歩一分です。是非一度お出かけください。また、近隣の子育て中の皆さんにもご紹介いただければ幸いです。

のんびりんこホームページもご覧ください。

<http://nonbirinco.com/aboutnonbirinco/>

■第19回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランのご案内

障がいのある子ども達を支援するために、10月15日(土)、みなとみらい21地区臨港パーク内特設コースで、チャリティーランが開催されます。現在、参加チームを募集しております。この活動の趣旨にご賛同いただき、多くの方にご参加いただけるようお願い致します。

日時：10月15日(土) 午前9:45(開会式)~午後2:30

会場：みなとみらい21地区臨港パーク内

参加費：1チーム5万円

申込締切：9月30日(金)

8月例会兼納涼会プログラム

日時：8月24日(水) 18:00~20:30

場所：驛(うまや)の食卓

司会：遠藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 金子会長

2. ワイズソング・ワイズの信条 全員

3. 今月の聖句 高田ワイズ

4. ゲスト・ビジター紹介 金子会長

5. 食前感謝 高田ワイズ

6. 乾杯 金子会長

7. 食事・歓談

出席者自己紹介

ウクレレ演奏 今村ワイズ、他

8. ビジネス・報告 金子会長、他

9. *Happy Birthday* : 田口努(5)、田口弥生(11)
古賀健一郎(11)、押川沢江(21)、神村浩正(31)

10. 閉会点鐘 金子 会長

例会報告：伊藤ワイズ

9月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
6	火		DeNA協賛試合	横浜球場
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
13	火	19:00	第74回Y-Y協議会	中央Y
22	木		ワイズカップ 室内サッカー大会	
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785